



## 虫めがねで太陽を見てはいけないのはなぜ

### 太陽の光は明るくて強すぎる

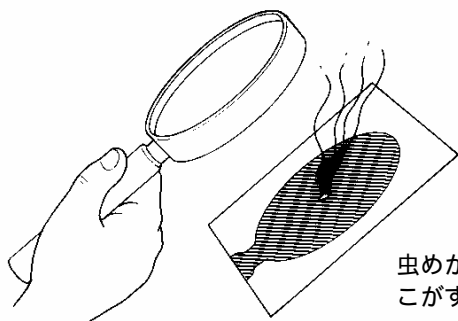
よく晴れた日では、太陽が地面をま上から照らす明るさは、1メートルの高さにおいた1000ワットの電球1000個に照らされている明るさと同じぐらいです。ですから、太陽を直接見ると、目を痛めてしまいます。

太陽の光が集められると、たいへん高い温度になります。虫めがねは、とつレンズでできていて、太陽の光を集めて黒い紙などを燃やすことができます。虫めがねで太陽を見ると、太陽の光が集められて目が焼けてしまい、目が見えなくなります。たいへん危険なので、絶対にやめましょう。

### 太陽を見るときは、しゃ光板などを使う

太陽を見るときは、目を痛めるので、直接見てはいけません。教材として売られているしゃ光板、色のこいサングラスや色ガラスなどを使って見ます。

望遠鏡で太陽を見るときは、色ガラスをつけても危険なことが多いので、直接のぞくことはやめて、色ガラスを通ったあとの太陽の像を、紙などに写して見るようにします。



虫めがねは黒い紙をこがす

太陽はしゃ光板などで見る

